
残酷な童話の群れ

佐和月そら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

残酷な童話の群れ

【Nコード】

N2543G

【作者名】

佐和月そら

【あらすじ】

寓話です。一話完結のショートストーリーです。

みちがある。まっすぐにのびていて、たいらできれいなみち。

あたしのみちだ。すぐにわかった。あたしがあるくためのみちなんだ。

さあいこう。

かったばかりのあかいくつで。このみちならきつとよごれない。

「かわいそうに、おじょうさん」

しばらくして、うしろで声がした。ふりかえってみると、はなれたところでみちをほっているおとこのこがいる。

「きみはそのみちしかすすめないんだ。すでにできあがっているみちをあるくだけなんだ。とてもかわいそう」

「どうして？あたしのためのみちなのよ」

「そうだよ。きみはあるくだけなんだ。ずっと、ずっと、みちがかわるまでずっと」

そういつておとこのこはみちをほる。あたしのみちはとおくまでのびている。おとこのこのように、すすむためにみちをほらなくてもいい。そんなことをしたら、あかいくつがよごれてしまう。

あたしはあるいた。

のっぽのおにいさんや、かみのながいおねえさん、こしのまがつたおじいさんたちともすれちがった。みんなひっしになってみちをほっている。そうしないと、まえへすすめないから。

あたしはあるいた。

どこまでもどこまでもみちはつづいていく。たいらできれいなみち。

あるいてもあるいても、なにもかわらなかつた。ずっとずっとおなじ、あたしのみち。

だんだんとあきてきた。おなじおなじおなじ。あたしのためのみち。でもあたしがつくつたわけじゃない。

とうとうすわりこんでしまった。もうおとこのこのすがたはみえない。あかいくつはきれい。でもなにもかわらない。

あたしのみち。あたしがあるくためのみち。どこまでつづいていの？おわりまであるかなきやいけないの？

まわりをみわたした。

どうしてあたしひとりなの……

- F i n -

（後書き）

ちよつと詰めが甘い小説になってしまいました。
題名は気に入っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2543g/>

残酷な童話の群れ

2010年11月27日16時47分発行